

## 令和3年度 第33回卒業証書授与式 校長式辞

柔らかな日差しが暖かさを増し、ここ筑紫野の里にも春の息吹が優しく感じられる今日の佳き日、福岡県教育委員会をはじめ、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」第33回卒業証書授与式を執り行うことができますことは、この上ない慶びであり、心より感謝申し上げます。

さて、卒業する48名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先ほど、一人ひとりに卒業証書を授与いたしました。緊張のなか、誇りと自信に満ちた皆さんの表情を垣間見たとき、皆さんにとって本校での3年間が充実したものであったと確信することができ、大変嬉しく感じました。

皆さんは、今から3年前、平成という時代が終わる平成31年4月に本校に入学し、令和という新しい時代の始まりの時期に、人生の中でも、最も貴重な3年間を本校で過ごすことになりました。

新しい時代の始まりへの期待が大きいなか、本校での様々な経験を通して、仲間とともに社会を「生き抜く力」を身に付けていけると、誰もが疑わなかったことと思いますが、皆さんが1年生を終える頃から、新型コロナウイルス感染症により、学校行事だけでなく、皆さんの日々の活動も大きく制限されてしまいました。全世界を襲った未曾有の困難が、皆さんの学校生活にも大きな影響を及ぼし、一人一人が輝きを放つ貴重な機会の多くが奪われてしまい残念でなりません。

コロナ禍でなければ皆さんが修学旅行で訪れていたであろう、夢の国「ディズニーランド」の生みの親であるウォルト・ディズニーが、このような言葉を残しています。

「人生で経験したすべての逆境、トラブル、障がい、私を強くしてくれた。」

皆さんを苦しめたコロナ禍ですが、ウォルト・ディズニーの言葉のように、この苦しい経験が皆さんを少しでも強くしてくれることを信じたいと思います。

これから、皆さんは、それぞれが選んだ道で社会への一歩を踏み出し、学生ではなく社会人としての新たなステージが始まります。幸せを感じる時もあれば、苦しい瞬間もあることでしょう。ただ、自分を見失わず、自分のことを信じ、そして、一人で悩みを抱え込むのではなく、皆さんを支援して下さる方々に任せられることは任せて、これからの社会生活を送って行ってください。

色々な人との出会いの中で、色々な経験をして、色々な感情を味わうことで、人として大きく成長していきます。常に、謙虚さや感謝の気持ち、相手を思いやる心を忘れないで、自分の役割を果たし、それぞれの進路先で輝いてほしいと願っています。

高い所からではございますが、保護者の皆様、そして、関係機関の皆様へ、一言ご挨拶申し上げます。本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまでの養育の中で、言葉では言い尽くせないご苦勞も多かったことと思います。それだけに、いろいろな出来事をひとつひとつ乗り越えられ、お子様の卒業という大きな節目の日を迎えられたことに感概もひとしおのことと拝察申し上げます。また、本校の教育方針に深くご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜りましたことに、改めまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

終わりに、県教育委員会をはじめ、ご来賓の皆様にはご多用の中、ご臨席を賜り、卒業生に温かい励ましのお言葉をいただきましたことに心より感謝申し上げますとともに、本日、ご出席の皆様のご健勝と、卒業生一人一人が周囲の人々から愛され、社会に貢献していくことを心から祈念し、式辞といたします。

令和4年3月4日

福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」 校長 太田 信